

# 教育福祉常任委員会報告「心と体の健康のために」

7月3日 ラヂアンMR2 13:30~15:00

## 1、課題として取り上げた背景

教育福祉常任委員会では、町民の健康保持こそが国民健康保険特別会計の予算削減と、子どもの体力向上につながると考え（仮称）心身きり条例を制定すべく調査研究を行っている。町民すべての方に健康意識を持っていただくためには、条例の作成段階から町民参加により作り上げることが必要であると、すでに2回教育福祉常任委員会として意見交換会を開催した。現在作成中である条例案骨子を説明し、それに基づきさらなる意見を伺いたくテーマとした。

## 2、まとめ

参加者の条例制定に寄せる期待を感じとれました。制定だけにとどまらず、運用こそが重要であると認識し、町民の健康づくりに役立てていきます。

## 3、主なご意見

### 条例そのものについて

- ・子どもについて書いてある部分が少ない。
- ・15条、必要な財政上の措置とあるが、目的は何か。具体的な数値（特別会計を減らすとか、健康寿命が延びるとか）で表すべきではないか。投資したものがリターンとして返ってきたらいい。
- ・町は統計的に分母が小さくて、健康寿命が出ない。

### 条例の周知活用

- ・条例制定後に健康フォーラムを開催。2、3日で講演会や展示、体力測定、意見交換などをし、町民に見える形で盛り上げる。（そのために健康習慣月間？的なことを盛り込む？）
- ・町の高齢者向け健康事業。PRの仕方があるのではないか。
- ・条例を作っただけでうまくいくはずがない。
- ・官と民が一緒にならないと健康づくりはうまくいかない。

### 健康づくり・意識改革

- ・自分の体は自分で守るという意識で生活している、そういう自覚が薄いのではないか。
- ・歯を治すのは対処療法。体のゆがみなどが歯に出る。
- ・糖質の取りすぎ。野菜中心を指導し、運動をしてもらう。
- ・平成30年度から保険料はある程度県が決めるようになる。医療費がかかっている自治体は保険料を上げろ！となってしまうので、このタイミングで健康条例を作るのは非常に良いと思う。意識を変えるための条例でもあるから、町民と対話して作って欲しい。
- ・健康は自己目標。目標を達成したらポイントがもらえるようにしたらどうか。

### その他

- ・特別会計が削減できればいい。
- ・ヘルスという言葉とともに「ビューティー」を入れる。

以上